

**第13回全国システム実務者研修会**  
**物流の最新情報 質疑応答**

	質問	回答
1	<p>加藤様の講演内容での気になった点、確認事項としては物流システム構築に向けての投資に対し、補助金が新設されるとのお話がありましたが、詳しく解っていただければお教えください。</p> <p>①補助金適用される物流投資に関するシステム内容 ②会社規模：資本金、従業員数等 ③適用期間 ④補助率、補助金額</p>	<p>経済産業省の補助金は、まだ詳細決定されていませんので、決まった段階で改めてご案内します。現段階の想定は以下の通りです。</p> <p>物流EDI等のシステム投資が対象となる予定。 中小企業には2/3、中堅企業（従業員2000人以下）には1/2が目安か。</p>
2	<p>国土交通省が“物流デジタル化を強力に推進していく”とありましたが、デジタル化とは具体的にどのようなものでしょうか。 またデジタル化に当たってはなかなか企業単位で投資が難しい部分があると思いますが、その点はどのような計画なのでしょう。補助金等で追いつけるのでしょうか。</p>	<p>国土交通省の大綱では、サプライチェーン全体の最適化を見据えたデジタル化として以下をあげています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○川上から川下まで物流に関わるステークホルダーが一貫してシステムを活用できるようなデータ基盤の整備、</li> <li>○発荷主・物流事業者・着荷主等複数の事業者の連携によるシステムの共有</li> <li>○各種センサー、RFID 等で収集・共有したデータの活用</li> </ul> <p>国土交通省もデジタル投資には補助金を検討しているの、詳細については今後の情報発信をご確認ください。</p>
3	<p>実証実験を計画されているようですが、実験結果をどう評価するのか、評価指標や評価方法はどのようなものなのでしょうか。</p>	<p>報告資料p55「メーカーと卸・小売センター間の納品データ連携のメリット」の整理に基づいて、KPIを設定する計画です。 詳細は実験内容に応じて今後確定いたします。</p>
4	<p>マスタ標準化など、各企業ごとの事情でなかなか進めづらい部分が多く、「総論賛成・各論反対」になりそうな気がします。その点をどうすればうまくいくと考えていますか。</p>	<p>標準マスタは基本項目に絞って議論し、関係依存項目、個別項目は対象外とするようにしています。また、議論には業界のキーメンバー企業を巻き込むようにし、各論反対にならないように努力しております。</p>
5	<p>「製・配・販」の連携によって「フィジカルインターネット」を実現するために必要な要素は何でしょうか？</p>	<p>製・配・販連携協議会の4WGのテーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商流・物流におけるコード体系標準化</li> <li>・物流資材の標準化および運用検討</li> <li>・取引透明化に向けた商慣習の見直し</li> <li>・データ共有による物流効率化</li> </ul> <p>を解決すべき課題・要素と考えています。</p>
6	<p>フィジカルインターネットのロードマップを見ますと、水平連携や垂直統合、物流拠点自動化・機械化など 最終的にはすべてを効率化するべく日本中の企業が集まるような巨大プラットフォームを作ることかと思いましたが、その場合、物流企業の統合などが将来的に行われることになるのでしょうか？</p>	<p>フィジカルインターネットロードマップでは必ずしも業界構造を想定していませんが、個人的には物流企業の集約化は進むものと予想しています。</p>
7	<p>今回のような業界を俯瞰した情報について、e-お菓子ねっと会員であれば今後情報を得る機会がありますでしょうか？</p>	<p>e-お菓子ねっとより、適宜、情報発信していきます。</p>